

6 乾燥・保管

- 滅菌・消毒後は器具を完全に乾燥させて下さい。
滅菌バッグなどを使用される場合も、乾燥後にバッグ内に水分が残っていると十分な滅菌効果が得られない場合があります、サビの原因にもなります。
- サビのある器具や、異なる金属の器具と一緒に保管しないで下さい。サビる恐れがあります。
- 化学薬品と一緒に収納、保管しないで下さい。サビる恐れがあります。
- 樹脂製品は紫外線殺菌を行わないで下さい。変質、劣化の恐れがあります。
- 樹脂製品は、洗浄剤・薬品・有機溶剤の使用条件を守ってご使用ください。応力のかかるところに洗浄剤・薬品・有機溶剤が付着し内部まで浸透すると、応力との相互作用により亀裂が生じる恐れがあります。
- 器具の保管は、歯科医療従事者以外の方の手の触れない安全な場所にして下さい。

洗浄～滅菌・保管時における器具の状態について

より確実に細部まで洗浄・滅菌がされるように、分解できるものは分解し、鉗子などの関節部や持針器などのロック(止め)部は開いておきます。

また、使用時以外はロック(止め)部を開放することで、常に器具に応力がかかった状態にならないため、応力腐食割れや金属熱膨張による破損を防ぎます。保管の際もロック(止め)部を開放することをおすすめします。

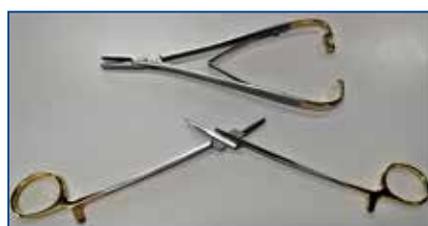
ミラーはミラートップとハンドルを外す。



コンタクトゲージはホルダーからゲージを外す。



持針器はラチェット部(ロック部)を開放する。



開口器はチップを外す。

